

<生活環境の保全に関する環境基準（生活環境項目）>

pH、BOD、SS、DO、大腸菌群数等、水の「よごれ」の状態を示す項目について、河川や湖沼、海域ごとに区分を設け、その区分水域ごとに、それぞれの利水目的、水質の現状に応じて定められています。（環境基本法）

水の汚れを示す主な指標

指 標 名	説 明
pH (水素イオン濃度)	水が酸性かアルカリ性であるかを示す数値で7が中性、それより数値が小さければ酸性、大きければアルカリ性を示し、6.5～8.5の間にあることが望まれます。
BOD (生物化学的酸素要求量)	水中の有機物を微生物が分解するために必要とする酸素の量で、この数値が高いほど水は汚れています。5mg/L 以下であることが望まれます。
COD (化学的酸素要求量)	水中の有機物を薬品を使って分解するために必要とする酸素の量です。BOD が河川を対象として用いられるのに対し、こちらは湖沼や海域に対して用いられます。
SS (浮遊物質)	水中に浮遊している水に溶けない成分で、川底に溜まったり、魚介類に付着します。50mg/L 以下であることが望まれます。
DO (溶存酸素量)	水中に溶けている酸素の量で、この量が少なくなると魚介類は生きられません。生命力の強いコイ、フナなどでも5mg/L 以上必要とされています。

<平成 28 年度 玉川上水及び千川上水の水質調査結果>

玉川上水、千川上水では下水処理場（東京都多摩川上流水再生センター）の2次処理水が放流されています。流れる水の状態（汚れ具合）を把握するために、生活環境項目の水質調査を行いました。

計3地点で4回にわたり調査を実施しました。特に著しい汚れの数値はありません。

調査月日 ①平成28年5月25日 ②9月5日 ③平成29年1月4日 ④2月24日

	玉川上水上流側 桜堤 2-15				玉川上水下流側 御殿山 1-19				千川上水下流側 吉祥寺北町 3-16			
	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④
pH	7.7	7.5	7.7	7.8	7.7	7.7	7.6	7.7	7.7	7.8	7.7	7.8
BOD	<0.5	<0.5	0.9	1.1	<0.5	<0.5	0.9	1.1	0.5	0.6	1.3	1.0
COD	5.7	4.7	4.8	5.8	6.5	4.9	4.7	7.3	7.3	5.9	6.3	7.4
SS	13	13	8	4	18	14	10	8	24	37	20	11
DO	8.0	8.2	11.2	10.1	7.8	8.0	10.7	10.5	8.9	9.0	11.2	10.8